授業科目　問題解決技法

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	情報
寺島　和浩	開講時期	前期	必修選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【ディプロマポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
	○	○	○	○

【概要・一般目標：GIO】

私たちは様々な問題に直面し，それを解決しながら生活している。問題の発見の仕方，解決の手順，解決するために必要な情報の収集と分析など，問題を発見してから解決するまで，一連の流れに沿った解決策を見つけるための手法について学ぶ。

【学習目標・行動目標：SBO】

１）問題を発見し，それを解決するための手法について学び，それを応用できる。
２）問題発見と解決について，事例を通じて，実践的に理解する。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	問題とは	1	
2	問題の発見	1	
3	目標の設定	1	
4	問題解決の手順	1	
5	情報の収集と整理	1	
6	情報の分析	1	
7	発散的手法	1	
8	収束的手法	1	
9	グラフ表現	1	
10	図解表現	1	
11	評価	1	
12	事例１	2	
13	事例２	2	
14	事例３	2	
15	まとめ	2	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 （必ず購入する書籍）				
参考書	大学生のための基礎力養成ブック	小棹理子、伊藤善隆、高橋可奈子　他	丸善出版	2012・2,000円＋税
その他の資料				

【評価方法】

出席状況（10%），発表状況（30%），課題内容（60%）によって評価する。

【履修上の留意点】

演習では積極的に発言し，発表することを期待する。